

**〔長久手町業務評価票：平成19年度業務〕**

課係NO・業務NO	□□□□-□□・□□	総合計画	□3節□4項	(4) 生きがいくくり
担当課・係名	福祉の家 事業係【問合せ・質問等の先(内線番号) 64-6500番】			

<b>業務の名称</b>	高齢者生涯学習事業						
(1) 根拠法令・条例							
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の 10.0% (係の総業務量を100%とする) 職員延人数: 128.0人・日 (臨時雇用者延人数: 0人・日)						
(3) 事業費 (人件費分を除く)	888千円 (平成19年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))						
(4) 補助率(補助金がある場合のみ記載)	_____% (平成19年度実績)						
(5) 業務期間	開始した年度	15年度	終了(予定)年度	年度			
(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)							
①業務目的(達成目標)	高齢者の生きがいくくりと社会参加の促進						
②業務が対象とする住民(地域、層)	町内在住の60歳以上の高齢者						
③業務の具体的な実施内容・方法(平成19年度実績)	各種講座を開催し、生きがいくくりと交流を推進し、高齢者の社会的孤立感や老後の不安の解消を目指す。 初心者向けに楽しく受講できる講座を選定28講座、年間4回広報で募集。 定員は10名から20名(定員を超えた場合は抽選) 個人負担は受講料として1回200円と教材費実費						
④業務の実施結果(平成19年度実績)	・申込み数が定員を超え、抽選になる講座もある。						
	【業務結果の説明指標】						
		結果の説明指標	17年度	18年度	19年度 実績	20年度 目標	将来目標
1	生涯学習講座	28	28	25	33		
2	生涯学習講座延べ回数	215	196	176	291		
3	受講者延べ人数	2,172	2,117	1,518	3,000		
4							
5							
⑤業務の成果(業務目的の達成状況)(平成19年度実績)	・定例講座、新規講座ともに参加者からは好評である。						
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】						
		成果の説明指標	17年度	18年度	19年度 実績	20年度 目標	将来目標
1	生涯学習講座	28	28	25	33		
2	生涯学習講座延べ回数	215	196	176	291		
3	受講者延べ人数	2,172	2,117	1,518	3,000		
4							
5							

(7) 遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
・新規受講者の拡大。周知方法の工夫。

(8) 改善実績（過去3年間の実績）
・アンケートを参考に次回以降の講座に反映する。

(9) 業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	4点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	4点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	4点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	4点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	4点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	5点
		平均 4.2点

(10) 総合評価（課の見解）	
①今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 前年度と同じく、そのまま継続する。</li> <li>2. 見直して継続（業務の拡大）</li> <li>3. 見直して継続（業務の縮小）</li> <li>4. 見直して継続（方法の改善）</li> <li>5. 見直して継続（他業務と統合）</li> <li>6. 廃止する。</li> <li>7. 休止する。</li> </ol>
②評価理由	60歳以上の高齢者は毎年増加傾向にあり、初心者向け講座のため受講生は新しく入れ替わるため。

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
高齢者の生きがいがいづくりとして浸透してきている。目標が達成されている。